

(19)

JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **09205512 A**

(43) Date of publication of application: **05.08.97**

(51) Int. Cl. **H04N 1/00**
G06F 1/00
G06F 13/00
G06K 7/00
G06K 7/10
G06K 19/00

(21) Application number: **08012625**

(71) Applicant: **CANON INC**

(22) Date of filing: **29.01.96**

(72) Inventor: **TONEGAWA NOBUYUKI**

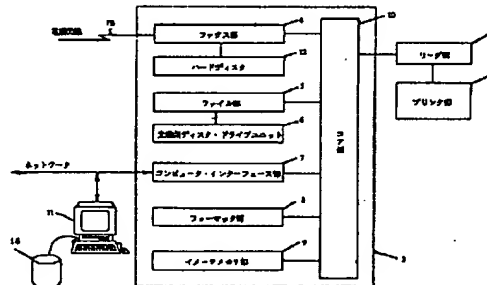
(54) **IMAGE PROCESSING UNIT**

(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To omit troublesome entry operation such as a user name or a password for accessing by collating user information described on an original having a prescribed format with user information managed in advance so as to allow the user to use an information recording and reproducing device.

SOLUTION: A large capacity recording disk 14 is connected to a computer 11 and in order to access the recording disk 14, it is required to register a user name and a password corresponding to the user name. In the case of log-in, the right of access to the large capacity recording disk 14 is obtained by entering the correct user name and the correct password. That is, the user uses the large capacity recording disk 14 quickly without troublesome key entry of the user name or the like for the access by allowing the large capacity recording disk 14 to read a long-in sheet on which the user name and the password or the like for access are described.

COPYRIGHT: (C)1997,JPO



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-205512

(43)公開日 平成9年(1997)8月5日

(51)IntCl. ^a	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 4 N 1/00	1 0 6		H 0 4 N 1/00	1 0 6 Z
G 0 6 F 1/00	3 7 0		G 0 6 F 1/00	3 7 0 E
	13/00			3 5 5
G 0 6 K 7/00		7429-5B	G 0 6 K 7/00	W
	7/10	7429-5B		P

審査請求 未請求 請求項の数6 OL (全 12 頁) 最終頁に続く

(21)出願番号 特願平8-12625

(22)出願日 平成8年(1996)1月29日

(71)出願人 000001007

キヤノン株式会社

東京都大田区下丸子3丁目30番2号

(72)発明者 利根川 信行

東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤ
ノン株式会社内

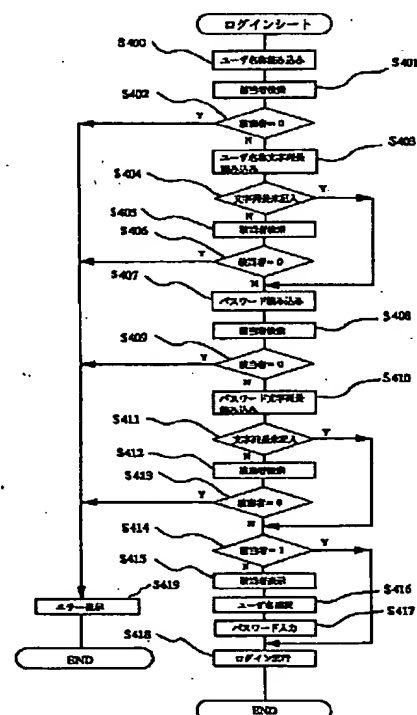
(74)代理人 弁理士 大塚 康德 (外1名)

(54) 【発明の名称】 画像処理装置

(57) 【要約】

【課題】 ネットワーク上の装置をアクセスするためのユーザ名称、パスワードの入力が煩わしい。

【解決手段】 ネットワーク上の情報記録・再生装置をアクセスするためのユーザ情報を管理する一方、所定フォーマットの原稿上の記載情報よりユーザ情報を抽出する。そして、抽出したユーザ情報と管理されたユーザ情報とを照合して、その照合結果より、情報記録・再生装置をアクセス可能なユーザを検索する。検索されたユーザは情報記録・再生装置の使用が可能となる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 複数のユーザにてネットワーク上の情報記録・再生装置をアクセスする画像処理装置において、前記情報記録・再生装置を使用するためのユーザ情報を管理する手段と、

所定フォーマットを有する原稿を認識する手段と、前記認識された原稿上の記載情報よりユーザ情報を抽出する抽出手段と、

前記抽出したユーザ情報と前記管理されたユーザ情報とを照合する手段と、

前記照合の結果より、前記情報記録・再生装置をアクセス可能なユーザを検索する手段とを備え、

前記検索されたユーザに対して上記情報記録・再生装置の使用を可能とすることを特徴とする画像処理装置。

【請求項2】 前記ユーザ情報には、少なくともユーザ名称、該ユーザ名称に対応するパスワードが含まれることを特徴とする請求項1に記載の画像処理装置。

【請求項3】 前記抽出手段は、前記ユーザ名称及びパスワードを構成する文字、あるいは該文字及び該文字の文字列長をもとに前記ユーザ情報を抽出することを特徴とする請求項2に記載の画像処理装置。

【請求項4】 前記原稿はマークシート原稿であり、該原稿にはそれ自体がマークシートであることを意味する情報が含まれることを特徴とする請求項1に記載の画像処理装置。

【請求項5】 前記原稿は、前記情報記録・再生装置のログインシートであることを特徴とする請求項4に記載の画像処理装置。

【請求項6】 前記ユーザ名称及びパスワードに基づくユーザ情報は、前記原稿上において該ユーザ名称及びパスワードを構成する最少文字にて表わされることを特徴とする請求項3に記載の画像処理装置。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】 本発明は、ネットワーク上の情報記録・再生装置にアクセスできる、例えば、複合複写機装置のような画像処理装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来より、複合複写機装置として、原稿を複写印刷する複写機本来の機能の他に、FAX端末として複写機を用いるFAX機能、プリンタ端末として複写機を用いるプリンタ機能、そして、原稿を電子ファイリングするファイリング機能を備えた装置が提案されている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、上記従来の装置にてネットワーク上の情報記録装置にアクセスする場合、アクセスするためのユーザ名称、ユーザ名称に対するパスワードをキーボードから入力しなければならず、これらユーザ名、パスワードを入力する複写機装

置のキーボードは、一般的には比較的小さく、文字入力に対する操作性が優れたものとは言えない。

【0004】 さらに、複写機装置は、操作者が立ちながら作業することが一般的であり、このような状態で長時間操作することは、使用者にとって快適とは言えない。また、1台の複写装置を複数のユーザ使用することから、長時間、1人のユーザが占有してしまうと、他のユーザが複写機を使用できないという問題がある。

【0005】 本発明は、上述の課題に鑑みてなされたもので、その目的とするところは、ネットワーク上の情報記録再生装置にアクセスするためのユーザ名、パスワード等をキーボード入力する操作を省き、操作性を向上した画像記録装置を提供することである。

【0006】 また、本発明の他の目的は、ネットワーク上の情報記録再生装置にアクセスする際、キーボード入力することなく、登録されているユーザの中から目的のユーザを探し得る確率を向上させた画像記録装置を提供することである。

【0007】 さらに、本発明は、ネットワーク上の情報記録再生装置にアクセスするためのユーザ名、パスワードを記入した原稿を第3者が見たとき、そのユーザ名、パスワード等の情報が一見しただけでは判断できなくする機密保持機能を有する画像記録装置を提供することを目的とする。

【0008】

【課題を解決するための手段】 上記の目的を達成するため、本発明は、複数のユーザにてネットワーク上の情報記録・再生装置をアクセスする画像処理装置において、前記情報記録・再生装置を使用するためのユーザ情報を管理する手段と、所定フォーマットを有する原稿を認識する手段と、前記認識された原稿上の記載情報よりユーザ情報を抽出する抽出手段と、前記抽出したユーザ情報と前記管理されたユーザ情報とを照合する手段と、前記照合の結果より、前記情報記録・再生装置をアクセス可能なユーザを検索する手段とを備え、前記検索されたユーザに対して上記情報記録・再生装置の使用を可能とする。

【0009】

【発明の実施の形態】 以下、添付図面を参照して、本発明に係る実施の形態を詳細に説明する。

【0010】 図1は、本発明の実施の形態に係る画像処理装置の構成を示すブロック図である。同図において、リーダ部1は、不図示の原稿の画像を読み取り、原稿画像に応じた画像データをプリンタ部2及び画像入出力制御部3へ出力する。プリンタ部2は、リーダ部1及び画像入出力制御部3からの画像データに応じた画像を記録紙上に記録する。また、画像入出力制御部3は、信号線を介してリーダ部1に接続されており、後述するファクシミリ部4、ファイル部5、コンピュータインターフェース部7、フォーマット部8、イメージメモリ部9、コ

ア部10等からなる。

【0011】ファクシミリ部4は、電話回線13を介して受信した圧縮画像データを伸長し、伸長された画像データをコア部10へ転送する。また、ファクシミリ部4は、コア部10から転送された画像データを圧縮し、圧縮された圧縮画像データを電話回線13を介して送信する。このファクシミリ部4には、ハードディスク12が接続されており、受信した圧縮画像データを一時的に保存することができる。

【0012】ファイル部5には、光磁気ディスクドライブユニット6が接続されており、ファイル部5は、コア部10から転送された画像データを圧縮し、圧縮したデータを、その画像データを検索するためのキーワードとともに、光磁気ディスクドライブユニット6にセットされた光磁気ディスクに記憶させる。また、ファイル部5は、コア部10を介して転送されたキーワードに基づいて、光磁気ディスクに記憶されている圧縮画像データを検索し、検索された圧縮画像データを読み出して伸長するとともに、伸長された画像データをコア部10へ転送する。

【0013】コンピュータインターフェース部7は、コンピュータ11とコア部10の間のインターフェース回路である。このインターフェースは、TCP/IPの通信プロトコルで構成され、ここでは、複数のパソコン、ワークステーションがLANで接続されている。

【0014】コンピュータ11には、大容量記録ディスク14が接続されて、この記録ディスク14にアクセスするためには、コンピュータ11にユーザ名称、ユーザ名称に対応したパスワードの登録が必要になる。そして、ログイン時に正しいユーザ名称、パスワードを入力すると、大容量記録ディスク14にアクセスする権利が得られる。

【0015】フォーマッタ部8は、コンピュータ11から転送された画像を表わすコードデータを、プリンタ部2で記録できる画像データに展開するものであり、イメージメモリ部9は、コンピュータ11から転送されたデータを一時的に記憶するものである。なお、コア部10については後述するが、コア部10は、リーダ部1、ファクシミリ部4、ファイル部5、コンピュータインターフェース部7、フォーマッタ部8、イメージメモリ部9のそれぞれの間のデータの流れを制御する。

【0016】図2は、本実施の形態に係る画像処理装置のリーダ部1及びプリンタ部2の断面構成を示す図である。同図に示すように、リーダ部1の原稿給送装置101は、不図示の原稿を最終頁から順に1枚ずつプラテンガラス102上へ給送し、原稿の読み取り動作終了後、プラテンガラス102上の原稿を排出する。そして、原稿がプラテンガラス102上に搬送されると、ランプ103が点灯され、スキャナユニット104が移動を開始して、原稿を露光走査する。このときの原稿からの反射

光は、ミラー105、106、107、及びレンズ108によってCCDイメージセンサ（以下、CCDという）109へ導かれる。

【0017】このように、走査された原稿の画像は、CCD109によって読み取られ、CCD109から出力された画像データは、所定の処理が施された後、プリンタ部2及び画像入出力制御部3のコア部10へ転送される。

【0018】プリンタ部2のレーザドライバはレーザ発光部201を駆動し、リーダ部1から出力された画像データに応じたレーザ光を、レーザ発光部201に発光させる。そして、このレーザ光は感光ドラム202に照射され、感光ドラム202上には、このレーザ光に応じた潜像が形成される。感光ドラム202の潜像部分には、現像器203によって現像剤が付着される。

【0019】レーザ光の照射開始と同期したタイミングで、カセット204及びカセット205のいずれかから記録紙を給紙し、それを転写部206へ搬送して、感光ドラム202に付着された現像剤を記録紙に転写する。現像剤の乗った記録紙は定着部207に搬送され、この定着部207での熱と圧力により、現像剤は記録紙上に定着される。

【0020】定着部207を通過した記録紙は、排出ローラ208によって機外に排出され、ソータ220は、排出された記録紙をそれぞれのピンに収納して、記録紙の仕分けを行なう。なお、ソータ220は、仕分けの設定がなされていない場合は、最上ピンに記録紙を収納する。

【0021】また、両面記録が設定されている場合は、排出ローラ208まで記録紙を搬送した後、排出ローラ208の回転方向を逆転させ、記録紙をフラップ209によって再給紙搬送路へ導く。さらに、多重記録が設定されている場合には、記録紙を排出ローラ208まで搬送しないように、フラップ209によって再給紙搬送路へ導く。そして、再給紙搬送路へ導かれた記録紙は、上述したタイミングにて転写部206へ給紙される。

【0022】図3は、本実施の形態に係るリーダ部1の構成を示すブロック図である。同図において、CCD109から出力された画像データは、A/D・SH部110でアナログ/デジタル変換が行なわれるとともに、シェーディング補正が行なわれる。このA/D・SH部110によって処理された画像データは、次に画像処理部111を介してプリンタ部2へ転送されるとともに、インターフェース部113を介して、図1に示す画像入出力制御部3のコア部10へ転送される。

【0023】CPU114は、操作部115で設定された設定内容に応じて、画像処理部111及びインターフェース部113を制御する。例えば、操作部115で、トリミング処理を行なって複写を行なう複写モードが設定された場合、CPU114は、画像処理部111にトリ

ミング処理を行なわせ、その結果をプリンタ部2へ転送させる。また、操作部115でファクシミリ送信モードが設定された場合には、インターフェース113から画像データと、設定されたモードに応じた制御コマンドをコア部10へ転送させる。

【0024】このようなCPU114の制御プログラムは、メモリ116に記憶されており、CPU114は、メモリ116を参照しながら上記のような制御を行なう。また、メモリ116は、CPU114の作業領域（ワーク）としても使われる。

【0025】図4は、本実施の形態に係るコア部10の構成を示すブロック図である。同図において、リーダ部1からの画像データは、インターフェース122を介してデータ処理部121へ転送されるとともに、リーダ部1からの制御コマンドは、CPU123へ転送される。データ処理部121は、画像の回転処理や変倍処理等の画像処理を行ない、リーダ部1からデータ処理部121へ転送された画像データは、リーダ部1から転送された制御コマンドに応じて、インターフェース120を介して、ファクシミリ部4、ファイル部5、コンピュータインターフェース部7へ転送される。

【0026】また、コンピュータインターフェース部7を介して入力された画像を表わすコードデータは、データ処理部121に転送された後、フォーマッタ部8へ転送されて画像データに展開され、この画像データは、さらに、データ処理部121に転送された後、ファクシミリ部4やプリンタ部2へ転送される。

【0027】ファクシミリ部4からの画像データは、データ処理部121へ転送された後、プリンタ部2やファイル部5、コンピュータインターフェース部7へ転送される。また、ファイル部5からの画像データは、データ処理部121へ転送された後、プリンタ部2やファクシミリ部4、コンピュータインターフェース部7へ転送される。

【0028】CPU123は、メモリ124に記憶されている制御プログラム、及びリーダ部1から転送された制御コマンドに従って、上述のような制御を行なう。また、メモリ124は、CPU123の作業領域としても使われる。このように、本実施の形態に係る画像処理装置は、コア部10を中心に、原稿画像の読み取り、画像のプリント、画像の送受信、画像の保存、コンピュータからのデータの入出力等の機能を複合させた処理を行なう。

【0029】図5は、本実施の形態に係る装置にて使用されるマークシートの一例を示す図である。

【0030】例えば、図3の操作部115にて「ログインシートプリント」を選択すると、ファイル部5にて、図5に示す画像データが作成される。この画像データは、コア部10を経由してプリンタ部2にて印刷され、機外に排出される。一方、この原稿がリーダ部1にて読

み取られると、その原稿データは、コア部10を経由してファイル部5に読み込まれる。ファイル部5では、以下のように、この原稿を処理する。

【0031】図5に示すログインシート上のマーク（301～306）は、このシートが通常の前稿とは異なり、特別な動作を実行するためのマークシートであることを示すマークである。また、マーク欄307は、このシートがログインシートであることを示す情報、ログインするコンピュータ11のIPアドレス、情報記録媒体である記録ディスク14のディスク情報等が記入されている。

【0032】そこで、リーダ部1は、これらのマーク（301～306）を検出すると、マーク欄307を読み取る動作を行なう。このとき、本シートは、前稿給紙装置101により、プラテン102上にセットされたり、あるいは、直接、装置の使用者がプラテン102上に、このシートを手でセットするため、その読み込み位置の、原点からの多少のずれが発生する。従って、このズレ量を補正しないと、マーク欄307のデータは、それらが互いに隣接しているために、正確に読み取ることができない。

【0033】このため、本装置では、マーク（301～306）を検出する際、このシートを読み込んだ位置が、原点からどれ位ズレているかを示すズレ量、さらに、基準点からどのぐらい回転した位置に置かれているかを示す回転量を計算する。これら計算されたズレ量、回転量を利用して、マーク欄307の情報を読み込む位置の補正を実行する。

【0034】上記のマーク（301～306）、あるいはマーク欄307は、一定面積中の黒画素の数を計算して、それらが一定値以上の場合、黒として判定を行なう。そして、この判定結果より、マーク欄307に記入してある、ログインシートであることを示す情報、ログインするディスクの情報を読み取る。

【0035】また、図5のマーク記入欄308は、情報記録媒体（記録ディスク14）にログインするための名称を記入する記入欄である。例えば、ユーザ名称“ABC”でログインする場合は、シート上の“A”，“B”，“C”の3箇所に筆記用具でそのマークを塗りつぶし、“CBA”でログインする場合にも、“A”，“B”，“C”の3ヶ所のマークを塗りつぶす。このようにマークしても、第三者にとっては、このシートに書かれているユーザ名が“ABC”なのか、あるいは“CBA”なのかの判断ができない。

【0036】マーク記入欄309は、ユーザ名称の文字列長をマークするための記入欄である。上記のようにユーザ名称“ABC”でログインする場合は、“3”の部分に筆記用具でマークを塗りつぶし、“ROOT”でログインする場合には、“4”の部分にマークをつける。このマーク記入欄309は、無記入でもログインが可能

であるが、その場合、ログインに成功する確率は低下する。

【0037】マーク記入欄310は、ユーザ名称に対応したパスワードを記入する記入欄である。例えば、パスワード“PASWD”でログインする場合、“A”、“D”、“P”、“S”、“W”の5箇所に筆記用具でマークを塗りつぶし、“ROOT”でログインする場合は、“O”、“R”、“T”、の3ヶ所のマークを塗りつぶす。この場合においても、第3者がこのシートを見たとしても、書かれているマークからは、正確にパスワードを想像することは困難である。

【0038】マーク記入欄311は、パスワードの文字列長をマークするための記入欄である。上記のパスワード“PASWD”でログインする場合は、“5”の部分に筆記用具でマークを塗りつぶし、パスワード“ROOT”でログインする場合には、“4”の部分にてマークを塗りつぶす。なお、このマーク記入欄311は、無記入でもログインが可能であるが、この場合もログインに成功する確率は低下する。

【0039】上記のマーク記入欄308～311のデータを読み取る動作は、マーク欄306、マーク欄307と同様である。マーク301～306から得られたズレ量、回転量を利用して、マーク記入欄308～311の位置情報を補正する。そして、補正された位置情報より、一定面積中の黒画素の数を計算して、それが一定値以上は黒として判定を行なう。この判定結果より、マーキングされた文字の判断をする。

【0040】図6は、コンピュータ11に登録されている使用可能なユーザーとそのパスワードを示す図である。同図に示す登録がなされたユーザが、コンピュータ11にログインすることにより、大容量記録ディスク14へのアクセスが可能となる。この情報は、コンピュータ11からコンピュータインターフェース部7を経て、ファイル部5に読み込まれる。

【0041】図6において、登録番号（ユーザ番号）が1のユーザ名称ABDのパスワードはABC、登録番号が2のユーザ名称BACのパスワードはABD、登録番号が3のユーザ名称AABCのパスワードはCBA、登録番号が4のユーザ名称ABCのパスワードはABC、そして、登録番号が5のユーザ名称CBAのパスワードはAACBである。

【0042】図7は、本実施の形態に係る画像処理装置でのログインシートの読み込み処理手順を示すフローチャートである。

【0043】上述のように、登録番号1のユーザ（ABD）は、マーク記入欄308のログイン名の欄において、“A”、“B”、“D”それぞれのマークを塗りつぶす。また、マーク記入欄310のパスワードの欄では、“A”、“B”、“C”のマークを塗りつぶし、読み込ませる。なお、マーク記入欄309、311の文字

列長の欄は無記入のままとする。

【0044】この場合、図7のステップS400では、ユーザ名称の読み込み処理として、マーク記入欄308のログイン名の欄にマーキングされている文字を判断する。その結果、“A”、“B”、“D”にマーキングされていることが判断できる。ステップS401は該当者の検索を行なう処理部分であり、上記の“A”、“B”、“D”の文字のみでユーザ名称が構成されているのは、この場合、登録番号1のみとなる。

【0045】ステップS402では該当者数を判断し、この場合、それが0ではないため、処理をステップS403に進める。ステップS403では、ユーザ名称文字列長の読み込み、すなわち、マーク記入欄309のログイン名の文字列長のマーキングを判断する。この結果、ここでは、何もマーキングされていないことが判断できる。従って、ステップS404では、文字列長が未記入であると判定して、処理をステップS407に進める。

【0046】ステップS407では、マーク記入欄310のパスワードの欄にマーキングされている文字を判断する。ここでは、“A”、“B”、“C”にマーキングされていることが判断できる。続くステップS408では、該当者の再検索を行ない、登録番号1のパスワードは“A”、“B”、“C”の文字だけから構成されているため、登録番号1が該当者となる。そして、ステップS409では、該当者が0でないとは判断するため、処理をステップS410に進める。

【0047】ステップS410では、マーク記入欄311のパスワード文字列長のマーキングを判断する。ここでは、上述のように、何もマーキングされていないことが判断される。従って、ステップS411では、文字列長が未記入であるため、処理をステップS414に進める。このステップS414では、該当者が登録番号1のみであるため、その判断はYESとなり、処理はステップS418に進められる。そして、登録番号1のユーザ名称ABD、パスワードABCにてコンピュータ11にログインを実行して、本処理を終了する。

【0048】登録番号2のユーザ（ユーザ名称BAC）は、マーク記入欄308のログイン名の欄の“A”、“B”、“C”それぞれのマークを塗りつぶす。また、マーク記入欄310パスワードの欄においては、“A”、“B”、“D”のマークを塗りつぶす。なお、マーク記入欄309、311の文字列長の欄は無記入のままとする。

【0049】この場合、ステップS400では、ユーザ名称として“A”、“B”、“C”にマーキングされていることを判断し、ステップS401にて、“A”、“B”、“C”の3文字だけを使用してユーザ名称が構成されているのは、登録番号2～5の4人が該当することを検索する。従って、ステップS402では、該当者は0でないため、処理をステップS403に進める。こ

のステップS403での読み込み処理の後、ステップS404では、ユーザ名称文字列長の欄に何もマーキングされていないことが判断される。そこで、文字列長が未記入であるため、処理はステップS407に進められる。

【0050】ステップS407での読み込みの結果、パスワードの欄において“A”，“B”，“D”にマーキングされていることが判断される。続くステップS408での該当者の再検索を実行すると、登録番号2～5のユーザの中で、パスワードが“A”，“B”，“D”の文字のみから構成されているのは、登録番号2のユーザのみとなる。従って、ステップS409では、該当者が0でないと判断されるため、処理はステップS410に進められる。このステップS410でのパスワード文字列長（何もマーキングされていない）の読み込みの後、ステップS411では、文字列長が未記入であるため、処理はステップS414に進められる。

【0051】ステップS414では、該当者が登録番号2のみであるため、その判定がYESとなり、処理はステップS418に進められる。その結果、登録番号2のユーザ名称BAC、パスワードABDにてコンピュータ11にログインが実行され、本処理が終了する。

【0052】登録番号3のユーザ（ユーザ名称AABC）は、マーク記入欄308のログイン名の欄の“A”，“B”，“C”それぞれのマークを塗りつぶす。また、マーク記入欄310パスワードの欄においては、“A”，“B”，“C”のマークを塗りつぶす。なお、マーク記入欄309，311の文字列長の欄は無記入のままとする。

【0053】この場合、ステップS400では、ユーザ名称として“A”，“B”，“C”にマーキングがされていることが判断され、ステップS401にて、“A”，“B”，“C”の文字だけでユーザ名称が構成されているのは、登録番号2～5の4人が該当することが検索される。従って、ステップS402では、該当者は0ではないため、処理がステップS403に進められる。

【0054】ステップS403でのユーザ名称文字列長の読み込みの結果、ステップS404では、文字列長が未記入であるため、その判定がYESとなり、処理はステップS407に進められる。このステップS407では、パスワードとして“A”，“B”，“C”にマーキングがなされていることが判断される。そして、ステップS408にて、登録番号2～5のユーザの中で、パスワードが“A”，“B”，“C”の文字だけから構成されているのは、登録番号3～5の3人であることが検索される。従って、ステップS409では、該当者が0でないと判断されるため、処理はステップS410に進められる。

【0055】ステップS410では、パスワード文字列

長の欄（何もマーキングされていない）の読み込みが行なわれ、ステップS411では、この文字列長が未記入であることが判断されるため、処理はステップS414に進められる。そして、ステップS414では、該当者が1ではないため、処理をステップS415に進める。

【0056】ステップS415では、該当するユーザ番号3（AABC）、ユーザ番号4（ABC）、ユーザ番号5（CBA）の3名を操作部115に表示する。続くステップS416では、本装置のユーザが、操作部115にてユーザ番号3のAABCを選択する。そして、ステップS417で、ユーザが操作部115にて、そのパスワードCBAを入力する。

【0057】ステップS418では、マーク欄307の情報と、操作部115から入力された登録番号3のユーザ名称AABC、パスワードCBAについて、コンピュータ11にログインを実行し、本処理を終了する。

【0058】なお、ログイン名の文字列長の記入欄309に、ユーザ番号3（AABC）の文字列長“4”がマークされた場合は、ステップS403で文字列長4を読み込み、続くステップS404では、文字列長が記入されているため、処理をステップS405に進める。そして、ステップS405にて、登録番号2～5のユーザの中から、文字列長が4であることを条件に該当者の再検索を実行する。

【0059】この結果、該当者はユーザ番号3（AABC）のみとなり、ステップS414では、その該当者が1になるので、ステップS418でのログイン処理が直接行なわれることになり、上記と同様、マーク欄307の情報とユーザ名AABC、パスワードCBAにてコンピュータ11にログインを実行し、本処理を終了する。

【0060】一方、登録番号5のユーザ（CBA）は、マーク記入欄308のログイン名の欄の“A”，“B”，“C”をそれぞれ塗りつぶす。また、マーク記入欄310のパスワードの欄において、“A”，“B”，“C”のマークを塗りつぶす。なお、マーク記入欄309，311の文字列長の欄は無記入のままとする。

【0061】ステップS400では、ユーザ名称として“A”，“B”，“C”がマーキングされていることが読み込まれ、ステップS401にて、“A”，“B”，“C”の文字だけでユーザ名称が構成されているのは、この場合、登録番号2～5の4人が該当することが検索される。従って、ステップS402では、該当者は0ではないため、処理がステップS403に進められる。

【0062】ステップS403では、ユーザ名称文字列長（何もマーキングされていない）が読み込まれ、ステップS404では、その文字列長が未記入であるため、処理がステップS407に進められる。このステップS407では、パスワードとして“A”，“B”，“C”にマーキングされていることが判断される。続くステッ

ブS408にて、登録番号2~5の中で、そのパスワードが“A”, “B”, “C”の文字だけから構成されているのは、登録番号3~5の3人が該当すると検索される。従って、ステップS409では、該当者が0でないため、ステップS410に処理が進められる。

【0063】ステップS410では、パスワード文字列長(何もマーキングされていない)の読み込みが行なわれ、続くステップS411では、文字列長が未記入であるため、その判断がYESとなるので、処理をステップS414に進める。このステップS414では、該当者が1でないため、ステップS415に処理が進められる。

【0064】ステップS415では、該当するユーザ番号3(AABC)、ユーザ番号4(ABC)、ユーザ番号5(CBA)の3名を操作部115に表示する。ステップS416では、ユーザが、操作部115にてユーザ番号5のCBAを選択する。そして、ステップS417で、ユーザが、操作部115にてパスワードAABCを入力する。

【0065】ステップS418では、マーク欄307の情報と、操作部115から入力された、登録番号5のユーザ名称CBA、パスワードAABCにてコンピュータ11にログインを実行し、本処理を終了する。

【0066】なお、パスワードの文字列長の欄311に、ユーザ番号5のパスワード(AACB)の文字列長“4”がマークされた場合、ステップS410では、この文字列長4を読み込み、ステップS411では、当該文字列長の記入がなされているため、処理をステップS412に進める。このステップS412では、登録番号2~5のユーザの中から、その文字列長が4であることを条件に、該当者の再検索を実行する。

【0067】この結果、該当者はユーザ番号5(ユーザ名称CBA)のみとなり、ステップS414では、該当者が1の判断が行なわれるので、ステップS418の処理を行なう。そして、マーク欄307の情報とユーザ名CBA、パスワードAABCにてコンピュータ11にログインを実行し、本処理を終了する。

【0068】このようにコンピュータ11にログインした後は、ファイル部5が、光磁気ディスクに記録/再生していたデータを大容量記録ディスク14に記録/再生することも可能となる。あるいは、コンピュータ11を介して電子メール情報を受け取り、それをフォーマット部8にて画像情報に変換後、プリンタ部2にてプリントすることも可能となる。

【0069】以上説明したように、本実施の形態によれば、画像入出力制御部に、ネットワーク上の情報記録再生装置にアクセスするためのユーザ名、パスワード等が記入されたログインシートを読み込ませることで、ユーザは、当該情報記録再生装置にアクセスするためのユーザ名等の煩わしいKEY入力操作をすることなく、速や

かに情報記録再生装置を使用できる。

【0070】また、ログインシートへのユーザ名、パスワード等の記入に加えて、ユーザ名、パスワード等の文字列長を記述することにより、キーボードからユーザ名、パスワード等を入力することなく、既に登録されている複数のユーザの中から、目的のユーザを探し得る確率を向上できる。

【0071】さらに、ネットワーク上の情報記録再生装置にアクセスするためのユーザ名、パスワード等を、実際のユーザ名やパスワード等の文字構成にとらわれず、最少現の構成文字のみをログインシートに記入することで、第3者は、記入されたユーザ名、パスワード等を見ただけではユーザ情報を容易に判断できないので、ユーザ情報の機密性を保つことができる。

【0072】なお、上記の例では、大容量記録ディスク12はコンピュータ11に接続された構成となっているが、これに限定されず、例えば、光磁気ディスクと並列に接続するようにしても同様の効果が得られる。また、図5に示すログインシートの画像を、ファクシミリ部4から読み取るようにしても良い。

【0073】本発明は、複数の機器から構成されるシステムに適用しても、1つの機器からなる装置に適用しても良い。また、本発明はシステムあるいは装置にプログラムを供給することによって実施される場合にも適用できることは言うまでもない。この場合、本発明に係るプログラムを格納した記憶媒体が本発明を構成することになる。そして、該記憶媒体からそのプログラムをシステムあるいは装置に読み出すことによって、そのシステムあるいは装置が、あらかじめ定められた仕方で動作する。

【0074】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、所定フォーマットを有する原稿に記入されたユーザ情報とあらかじめ管理されたユーザ情報とを照合し、その照合結果をもとにネットワーク上の情報記録・再生装置を、アクセス可能なユーザに該情報記録・再生装置の使用を可能とすることで、アクセスのためのユーザ名称、パスワード等の煩わしい入力操作を省略でき、情報記録・再生装置を速やかに使用可能となる。

【0075】また、他の発明によれば、ユーザ名称、パスワードの文字や文字列長をもとにユーザ検索を行なうことで、登録されているユーザの中から目的のユーザを探し得る確率が向上する。

【0076】

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態に係る画像処理装置の構成を示すブロック図である。

【図2】実施の形態に係るリーダ部及びプリンタ部の断面構成を示す図である。

【図3】リーダ部の構成を示すブロック図である。

【図4】コア部の構成を示すブロック図である。

【図5】実施の形態に係るログインシートを示す図である。

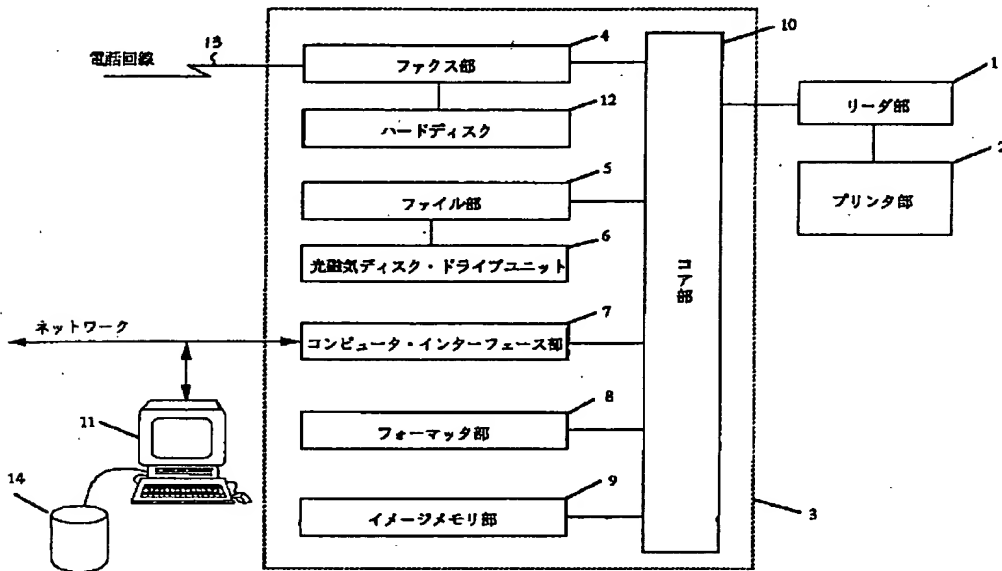
【図6】実施の形態に係るユーザ名称、パスワードの例を示す図である。

【図7】実施の形態に係る画像処理装置でのログインシートの読み込み処理手順を示すフローチャートである。

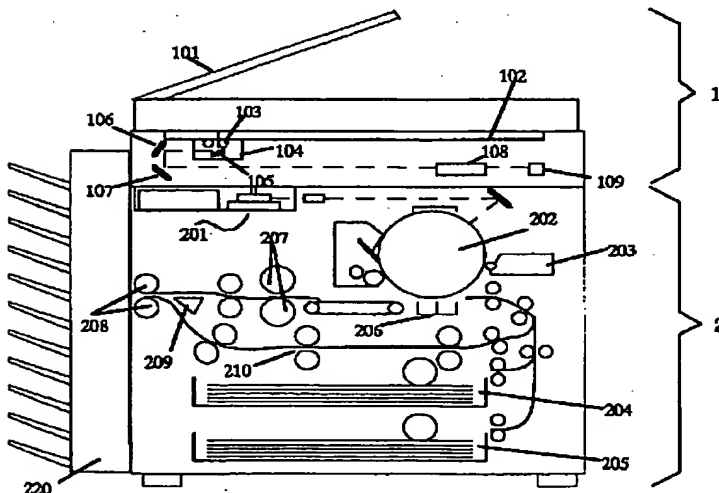
【符号の説明】

- 1 リーダ部
- 2 プリンタ部
- 3 画像入出力制御部
- 4 ファクシミリ部
- 5 ファイル部
- 7 コンピュータインターフェース部
- 8 フォーマッタ部
- 9 イメージメモリ部

【図1】



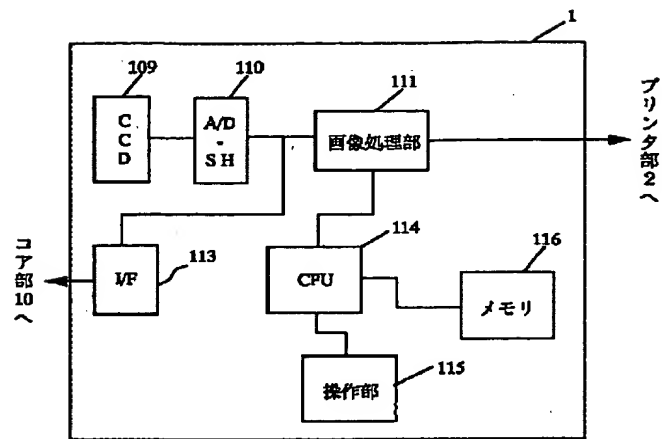
【図2】



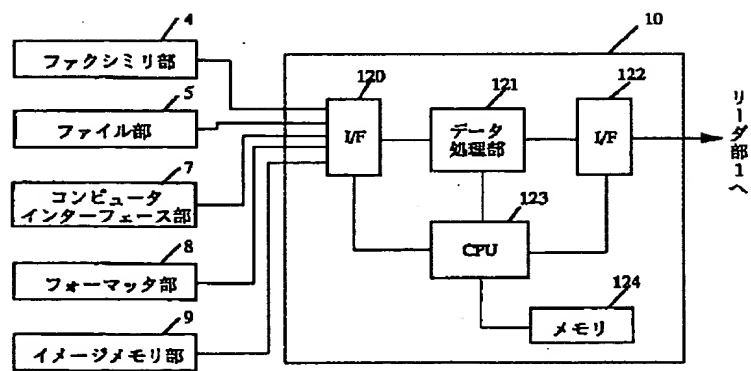
【図6】

ユーザ番号	ユーザ名称	ユーザパスワード
1	ABD	ABC
2	BAC	ABD
3	AABC	CBA
4	ABC	ABC
5	CBA	AACB

【図3】



【図4】



【図5】

コンピュータ ログインシート

<コンピュータログインシートの使い方>
 ①ログイン名、パスワードの該当する文字のマーク欄
 に印を付ける様に書くは-きりチェックを記入。
 文字列長は任意で可変です。
 ②記入が済んだらログインシートをフィードに
 セットします。
 ③スタートキーを押すとログインを終わります。

ログイン名

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	1	2	3	4
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	6	7	8	9	0	#	\$	%	&	@				
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				

文字列長 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------

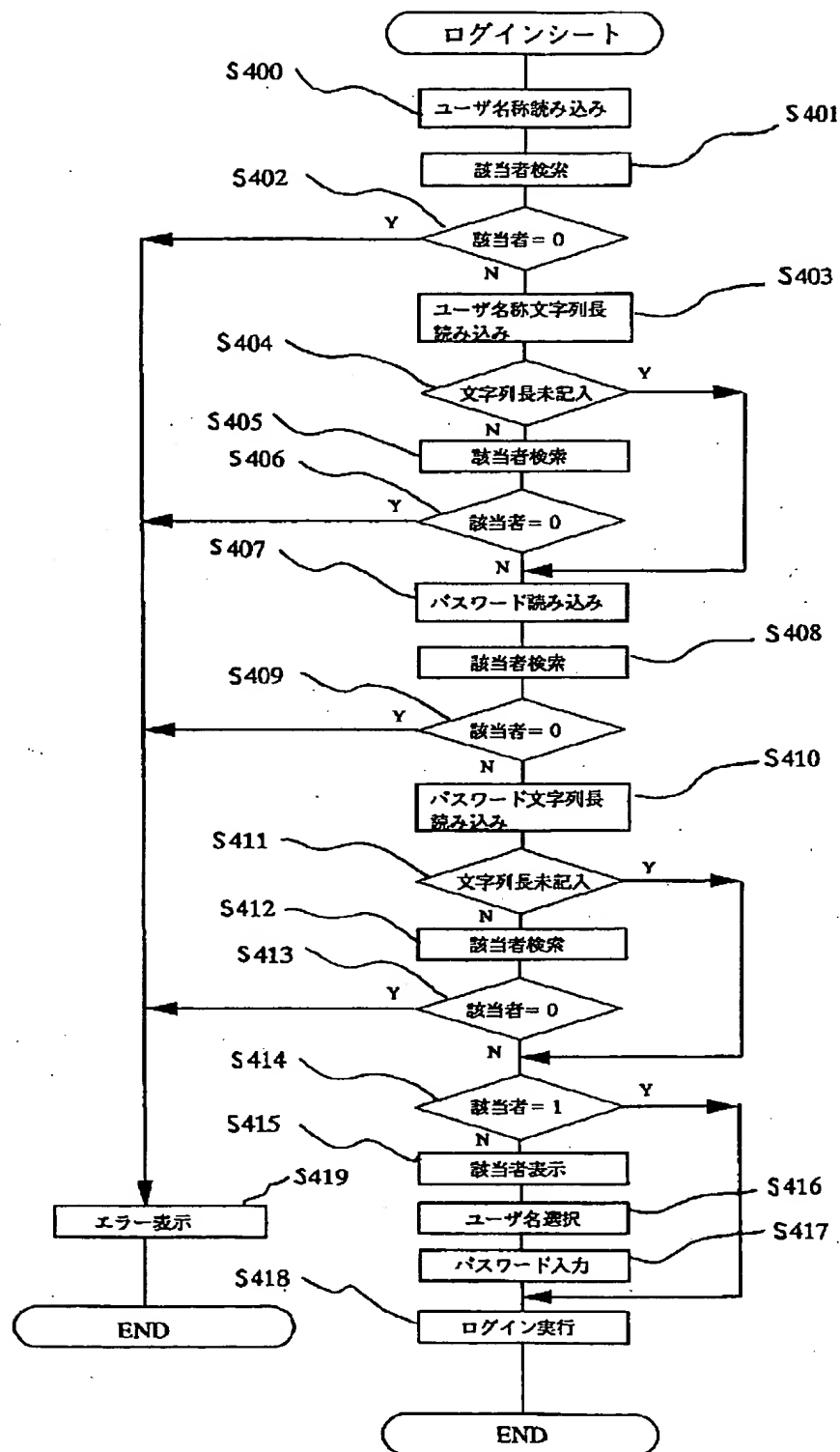
パスワード

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	1	2	3	4
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	6	7	8	9	0	#	\$	%	&	@				
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				

文字列長 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------

【図7】



フロントページの続き

(51) Int. Cl.⁶

G 0 6 K 19/00

識別記号

庁内整理番号

F I

G 0 6 K 19/00

技術表示箇所

X